

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	一橋大学	整理番号	I - 2
拠点のプログラム名称	現代経済システムの規範的評価と社会的選択		
中核となる専攻等名	経済学研究科応用経済専攻		
事業推進担当者	(リダー) 鈴木 興太郎 外17名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>現代経済システムの総合的・先端的な研究拠点を形成して、国際水準の研究者を養成する教育機関としても役割を果たすことが、この計画の目標である。経済システムには、歴史的に形成され、制度間競争の淘汰過程を経て根付いてきた自生的秩序という側面と、民主的な規範的評価に基づいて理性的に設計・選択された制度的枠組みという側面がある。そのため、我々の研究・教育拠点計画は、規範的評価と社会的選択の理論に対する世界水準の業績に根差す基礎研究部門と、実証的・比較制度的研究の豊富な経験と蓄積を背景とする応用研究部門を両輪として、複眼的・相補的に構想されている。また、基礎と応用の一貫教育、実証研究のクラフツマンシップの継承、国際的研究ネットワークとの不断の連携、を支柱とする教育計画によって、広い視野と高度な手法を兼備した研究者の養成と、我が国が直面する制度設計の課題に的確に貢献できる人材の供給を目指している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>このプログラムは規範と実証の双方の分析視点に立って、企業組織から国際経済システムまでを研究範囲に収め、歴史的研究をも踏まえて、経済システムの研究を進めることを目的とする。また、海外の研究機関と連携し研究の国際交流を深めることを企画している。優れた研究業績をもつ研究者によるこの構想の実現は、社会科学の分野に重要な研究教育拠点 (C O E) の形成を期待させる。</p>			